

高岡古城公園内にある句碑／歌碑／顕彰碑など

〔種別〕	〔内容・作品〕	〔場所〕
忠魂碑	忠魂永存	昭和30年 護国神社横
顕彰碑	高山右近顕彰碑	昭和57年 大手口
記念碑	芸術の森記念	昭和54年 博物館前
記念碑	望ましき富山県民像	昭和42年 市民会館前
句碑	雪解の北に流るる大河哉	昭和19年 山口花笠 卯辰山
句碑	萩咲きこぼれ南無千手観世音	昭和29年 本江木雨 射水神社東側
顕彰碑	逸見文九郎在綱小伝	昭和 6年 築山
顕彰碑	勤王志士川上三六翁碑	昭和 6年 築山
歌碑	高き屋にひとりのぼればさみしくも わが水郷に夕けむりたつ	昭和29年 満久紅雨 築山
詩碑	山河此処旧金湯太守英風鎮四疆 長使遺黎懷惠沢一園華木是甘棠	昭和11年 大橋 弘 築山
銅像	前田 利長公	昭和50年 本丸北側
遺徳碑	瑞龍前田公遺徳碑	大正 6年 本丸正面
記念碑	皇太子殿下御野立所（大正天皇）	明治42年 本丸北側
歌碑	高岡の街の金工たのしめり 詩のごとくにも のみの音を立つ	昭和37年 与謝野 寛 本丸北側高台
歌碑	館などさもあらばあれ海こえて 羅津に對す本丸の松	昭和37年 与謝野晶子 本丸北側高台
顕彰碑	服部嘉十郎先生頌徳碑	昭和30年 中の島
茶釜碑	茶釜塚	昭和25年 中の島
句碑	宴つづく思ひの朝霞さへづれり	大正15年 筏井竹の門 小竹藪
歌碑	ゆめさめてさめたるゆめは恋はねども 春荒寥とわがいのちあり	昭和40年 筏井嘉一 小竹藪
歌曲碑	夕日の曲	昭和47年 葛原しげる作詩 室崎 琴月 作曲 小竹藪
記念碑	植桜記	大正 6年 梅林
記念碑	市の花木 越の彼岸桜	昭和44年 小竹藪

高岡古城公園の歴史

1609年(慶長14年)	高岡城築城(加賀二代藩主前田利長)、縄張り一高山右近。
1615年(元和元年)	一国一城の令により廃城。
1872年(明治 5年)	城地、樹木を民間に払い下げ。
1873年(明治 6年)	公園条令公布。公園指定の運動(服部嘉十郎)。
1874年(明治 7年)	射水神社本丸跡へ遷座を決定。
1875年(明治 8年)	公園指定(高岡城址公園に指定)。
1907年(明治40年)	民有地1,365坪を公園に編入。中の島を築く。
1909年(明治42年)	公園の大補修を行う。会社、民家等の立ち退き命令。
1939年(昭和14年)	県の史跡に指定。
1951年(昭和26年)	高岡産業博覧会開催。鍛冶丸跡に美術館・三の丸跡に動物園・二の丸跡に公会堂設置。
1955年(昭和30年)	公園指定80周年記念。中の島に服部嘉十郎碑を建立。
1956年(昭和31年)	都市計画法による風致地区に指定。
1960年(昭和35年)	動物園、三の丸跡より明丸に移転。市民体育館、三の丸跡に建設。
1966年(昭和41年)	市民会館が二の丸跡に完成。
1967年(昭和42年)	「県指定公園」に指定。
1970年(昭和45年)	鍛冶丸跡に博物館建設。
1975年(昭和50年)	公園指定100周年記念。本丸球場(昭和22年建設)跡を緑の広場に改修。
1979年(昭和54年)	芸術の森開設(開町370年、市政施行90周年記念)。
1989年(平成元年)	「日本の都市公園100選」に認定。
1990年(平成 2年)	「さくら名所100選」に認定。
2000年(平成12年)	「甞る水100選」に認定(国土交通省)。
2001年(平成13年)	富山県森林浴の森に指定。
2006年(平成18年)	「日本の100名城」に選定。
2006年(平成18年)	「日本の歴史公園100選」に選定。
2015年(平成27年)	「国指定史跡 高岡城跡」に指定。
2015年(平成27年)	「日本遺産」に高岡市のストーリーが認定。

高岡古城公園にはこんな施設があります

高岡市立博物館

常設展では、高岡の歴史や文化などを紹介する「高岡ものがたり」を展示しています。マスコットキャラクターの利長くんが、楽しく、わかりやすく案内。「利長くんの兜をかぶってみよう」など、体験コーナーもあります。

時 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
料 無料(催し物によっては有料)
問 0766-20-1572



射水神社

有史1300年余りという由緒ある神社です。初詣やさまざまなお参りに多くの人々が訪れます。お参りの後は、おみくじを引いて、運勢を占ってみましょう。

問 0766-22-3104



動物園

ペンギンやフラミンゴなどのかわいい動物たちがいます。自然資料館には、鳥類、獣類などの標本が展示されています。

時 9:00~16:30
休 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
料 無料
問 0766-20-1565



民部の井戸

高岡城のあった頃、城内の飲用水として数ヶ所に井戸が掘ってあり、そのひとつが体育館横(昔、今枝民部の屋敷があった)にあります。この井戸は中でも最も大事なものであったらしく、その後屋形を建て今日まで保存されてきました。建築当時をしのぶ貴重な遺跡として後世に永く保存したいものです。井筒の直径80cm、深さ8m。屋形は高さ5m50cm、大きさ7.3m²あります。



【公園までのアクセス】

- 北陸新幹線 新高岡駅から車10分
- あいの風とやま鉄道線 高岡駅から徒歩10分
- JR氷見線 越中中川駅から徒歩4分
- 能越自動車道 高岡ICから車10分
- 万葉線 急患医療センター前電停から徒歩3分

発行

高岡古城公園管理事務所
 TEL.0766-20-1563
 FAX.0766-26-2086
 E-mail:kojyo@opal.ocn.ne.jp
 http://www.kojyo.sakura.ne.jp/

高岡古城公園を愛する会
 事務局:高岡市役所 花と緑の課内
 TEL.0766-20-1416



令和元年9月発行(第19版)



2019.9.10.260(A)

高岡古城公園 散策ガイド

21万m²の魅力が楽しめる!

国指定史跡 高岡城跡 日本100名城 日本100名所 日本遺産
 日本の歴史公園100選 さくら名所100選 日本遺産



日本有数の水濠公園だよ!!
 高岡城跡(古城公園)は、日本遺産の構成文化財のひとつです!!



歩く前に
 知っておこう!

高岡古城公園の基礎知識

前田利長公が築いた高岡城の城跡

加賀藩前田家二代の利長公は、天正13年(1585)から13年間、二上山ににあった守山城の城主でした。慶長3年(1598)に利家公の後を継ぎ藩主となり、同10年(1605)には隠居して富山城に移りました。しかし、同14年(1609)3月の大火により城が焼失したため、当時関野と呼ばれていた地に新しく高岡城をつくりました。縄張(設計)は、キリシタン大名であり、築城の名手として有名な高山右近と伝承されています。入城して5年、利長公は亡くなり、元和元年(1615)の一国一城令により廃城となりました。しかし、城跡は残り、町民から「古御城」として親しまれていました。

明治になり、民間に払い下げられ、城跡が消失しそうになりましたが、服部嘉十郎らが公園指定の請願書を提出し、保存運動を展開しました。こうした市民の力により、城跡は高岡古城公園として残り、今に受け継がれています。



高山右近像



前田利長公像

市街地に自然いっぱい! 3分の1が水濠

高岡古城公園の特長のひとつは、中心市街地に約21万m²という広大な面積を持っていることです。これは、東京ドームの約4.5倍にあたります。また、3つの水濠に囲まれており、その面積は全体の3分の1を占めます。加賀藩は、城の実質的な保全を図ったため、濠はほとんど築城時のままに残されています。

この公園は、人工的な手が加えられていない自然公園であり、豊かな水をたたえた水濠公園です。春はさくらの名所としてにぎわい、夏は緑豊かな自然を、秋は色鮮やかな紅葉、冬は白銀の静かなたたずまいと、四季折々に人々を楽しませてくれます。また、「高岡万葉まつり」のメイン会場にもなっています。



高岡古城公園



石垣

必見! 今も残る築城時の石垣

二の丸から本丸へつながる土橋には、築城当時の石垣が今も残ります。石には、築城時の刻印が見られ、歴史を感じさせます。

(●2より見られます)